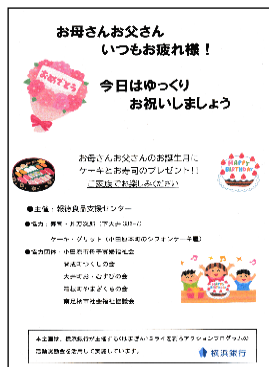


10月1日夕方5時から、横浜銀行様の補助金を使った第1回目の「美味しい物サプライズお母さんお誕生日おめでとう」のお寿司とケーキの配布会」を実施しました。全部で18組のひとり親家庭の方々が来られました。お寿司井万次郎)とケーキまんまるほっぺ伊藤勇作さんの手作りに、さらに湯本富士屋ホテルで洋食のシェフをされていた鈴木さんが当日昼から報徳食品支援センターで揚げた唐揚げとポテトに、お祝いメッセージをつけてお渡ししました。



シェフをされた鈴木さんが、感激・感想のメールを送ってききましたので、紹介します。こんばんは。今日はお疲れ様でした。初めての事業でしたが、スムーズに終わって良かったです。

受け取りに来られたお母さん方に「お誕生日

おめでとうございませう」と声をかけると、他人事のように「えっ...」という顔をされるので「お母さんへの誕生日プレゼントですよ!! いつも子育て頑張っているのです、今日は家族でお祝いしてください。」と言つと、我に返つたようので、涙で目頭を熱くされ、心から喜んでる姿に、こちらも目頭が熱くなつてきました。これこそが、本当の支援なんだと思ひました。皆さんお疲れ様でした。」

4人のお子さんを育てているお母さんは、お帰りの時涙ぐんでおられました。「忙しくて、車も無いからとても行けない。」と母子会の役員の方に連絡してきた方です。しかし、母子会の役員の方が「こういう主旨のプレゼントだから行きなさいよ。」と勧めてくれました。そうしたら「這つても行きます」と言つてこられた方です。どこで車を借りたのか、子ども全員も連れてこられました。一番小さい男の子はお寿司を見て「僕の好きな卵が2個しか入ってないよ。」と帰つてからの心配をしていました。お宅に帰つてからの賑やかな食卓が想像できました。



今、「コロナ不景気がまだ回復していない中で、急激に物価が上昇しています。シングルマザーの方々のインフレへの対応は、自分の服装・化粧品等の節約が一番で、次に食費の切りつめだそうです。まずは自分のことを切り詰め、それでもやりきれない分は食費を切り詰めて子どもたちのために頑張っています。そういう頑張っているお母さんお父さんにささやかな誕生日プレゼントです。日常の生活に張りつめていた気持ちにサプライズです。ケーキ・お寿司・唐揚げなどで一夜を家族全員で楽しんでいただきたいと思います。お父さんも明日も頑張る元氣を出していただけたら、私たちも嬉しいです。

この様子は、スポンサーの横浜銀行の担当者の方に報告いたしました。



参加者からのメッセージ

お寿司 いつも一〇〇円だから子供と「ネタおつきーねー」って言いながら美味しく頂きました。ケーキもおいしかったです。ありがとございませう♡

高齢者にお惣菜を届けました！

急速な食品価格上昇で生活が苦しくなっている高齢者の方々を少しでも援けたいと活動を始めています。しかし、どうやって対象となる方々にお渡し出来るかが意外と難しい課題です。

この7月から冷凍食品の惣菜類が定期的に入手出来るようになり、こども食堂などに提供するようにになりました。あじフライや天ぷら、シシヤモ等です。高齢の方には、食べやすいように調理をして小さいパックに詰めて提供することにしました。このアイデアは、平塚で子ども食堂をされている《ひまわり食堂 小野さん》から日々の活動の中からの経験を伝授いただきました。

箱根関所周辺には、食料品や日用品を販売する商店がなく、地域で暮らす高齢者を対象に、箱根長寿会友愛チームさんがパンの出張販売している傍らで配布させていただきました。

小野さんが早朝から調理して準備いただいた六種類以上のお惣菜やおにぎりを並べて自由に選んで頂きました。「アジフライの甘酢あんかけ」とり皮と大根煮」などいろいろです。とても喜んでいただけました。一人暮らしで日々簡単な食事をされている方には、良いプレゼントになったと思います。



今回を始めとして、徐々にこのような惣菜をお配りする機会を増やして支援をしていこうと考えております



助けを求める人を探す。

小田原で活動を始めて二年以上過ぎましたがなかなか助けを求める人に出会ったのが難しいです。私たちの活動が知られていないのが一番の原因だと思いました。そこで思い切った助成金を申請して、タウンニュースで告知記事を掲載しました。最初7月にひとり親家庭に焦点をあてて案内の記事を載せましたが反応はほんの少しでした。応募方法をいまどきのインターネットに絞ったのが原因だったようです。今回十月は対象をひとり親家庭に絞らず、応募方法も電話やメールでも可能にしました。すると十日間で十件以上の支援依頼や問い合わせが来て、その対応に追われています。生活が苦しい方、障がいをお持ち

ちの方とつながるためには、便利な最新鋭のシステムに頼ってはいけないと反省した次第です。

理事長のつぶやき

民間だからすぐにやる。

十月からさらに食品の価格が上がった。少ない年金でつましやかに暮らしているお年寄りにじわじわと生活の苦しみが増してきています。私達は、お年寄りの支援を始めました出来る事は限られています。まずは実行！続けている内に次はどうすれば良いのかアイデアが湧いてきます。行政ではこのようには行きません。生活状況の実態調査から始まり予算を年度内につけて、実際に始められるのは早く二年后くらいになるでしょう。それでは遅すぎます。私たちは、お年寄りの実情と当センターの対応をこれからも報告させていただきます。

今月号の芦ノ湖畔での配布がその皮きりです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



朝晩の寒さが身に染みる季節になりました。一日の気温差が大きい中、皆様お体をこ自愛くださいませ。